

のびのび育て! 街ぐるみでつくる、自由な遊び場 /
プレイパークってなに? vol.4

横浜市子ども青少年局
 ☎045(671)4153
 横浜市環境創造局
 ☎045(671)2650

プレイリーダーがいるということ

プレイパークに行ってみると子ども達にやけに慕われている大人の存在に気づくでしょう。その人がプレイリーダーです。

プレイリーダーは、子どもと遊んでくれる人? 遊びを教えてくれる人? 怪我をしないように見守る人? ...どれも合っているようでやや違和感があります。一言で言うとプレイリーダーは、子ども達が自由に遊べるための環境づくりをする人。ベーゴマや鬼ごっこで子ども達と真剣勝負したり、自ら水浸しになって水と遊ぶ気持ちよさを分かち合ったり、木工の材料を揃えたり、目につく所におもしろそうな物を置いてみたり…。子ども達の遊び心を刺激し、子ども達が心を解放させて自分のやりたいことに飛び込んでいけるよう、物や仕掛けを用意し、雰囲気作りをしているのです。子ども達はスリルのある遊びが大好き。リスクのある遊び



をしていても大きな事故にならないような心配りもしています。でも安全に「絶対」はありません。見守りは来園の大人たちにもお願いしたいものです。そんな理解と協力の輪を広げていくのも彼らの仕事と言えるでしょう。「ふじや〜ん!」「ぴかっち〜!」今日もプレイパークにプレイリーダーを呼ぶ子どもたちの声が響きます。

取材協力:横浜にプレイパークを創ろうネットワーク(YPC)
 各地区のプレイパークは以下のHPからご確認ください
<http://www.yokohama-playpark.net/>

読んでなっとく! **横浜の歴史** vol.48
 文:横浜開港資料館 調査研究員 齊藤 司

吉田新田⑮ 一元禄16年の大地震・津波による被害一

寛文7年(1667)の「完成」以後、吉田新田の経営は順調に進展していった。しかし、海岸部に造成された新田である吉田新田は、元禄16年(1703)11月23日に起きた元禄大地震とそれによって生じた津波により、大きな被害を受けた。五代将軍綱吉の側用人柳沢吉保の伝記「楽只堂年録」には「久良岐郡本牧領吉田新田潮除堤六百間程石垣共、潮二而崩崩、一同所潰家七拾六軒、死人男女七人、怪家人三拾人、損馬四疋、怪家馬廿六疋」と記されている。すなわち潮除堤の「六百間」=1,080メートルが海側に面した石垣とともに津波によって押し崩され、建物の損壊は「潰家」(=家屋の全壊)が76軒、死者は7人、「怪家人」=けが人(負傷者)は30人、「損馬」=死亡した馬4疋、怪我した馬26疋に及んでいる。潮除堤は全長1,033間の内、六割弱にあたる600間が石垣ごと崩壊。また元禄13年(1700)吉田新田耕作掟にみられる新田内居住者81人(軒)の内、九割を越える76軒の家屋が全壊したことになる。液状化現象を含めた地震の振動による潮除堤の崩壊だけでなく、津波の浸入による被害も合せての数値であろうか。

宝永7年(1710)2月付の「年恐書付を以て御訴訟申上候」では、「八年以前未之年」=元禄16年の「地震津浪」以降の状況の変化を次のように記している。まず、同年

の地震と津波により「潮留堤」が震え崩れたとしている。「潮留堤」は吉田新田の下部=東側の海に面して築堤された潮除堤のこと。おそらくは地震の震動による液状化現象により、地盤が安定していなかった堤防が崩壊したのであろう。そして、地震を発生源とする「津浪」(津波)が来襲し、崩壊した潮除堤を乗り越えて新田内部へ海水が浸入した。その範囲は具体的に記載されていないものの、微高地である大岡川と中村川沿いの堤防とその周辺を除いた吉田新田全域が浸水したものと想定される。この地震と津波により、吉田新田の農民たちは一時「退転」(避難・引越)を余儀なくされたのである。

その後、崩壊した潮除堤は翌年の元禄17年=宝永元年(1704)に幕府負担による工事によって復旧し、避難や引越をしていた農民たちも次第に吉田新田へ戻りはじめ、少しずつ耕作が再開されることとなった。とはいえ、生産条件の劣化した吉田新田にそれまで居住していた全ての農民が戻ったとするのはやや無理があるか。宝永7年2月付で吉田新田の「下百姓」(小作百姓)が提出した証文には「下百姓五拾四人連判仕」とあり、実際に54名が連印している。文書の内容が訴訟関係であるため、連名していない農民も想定されるが、それにしても元禄13年段階の81名(軒)に比べればかなり減少しているといえよう。

TOKIKO'S HISTORY 花はどこへ行った 加藤登紀子コンサート 横須賀芸術劇場で開催!

歌手生活52年目を迎えた加藤登紀子が半生を歌で振り返る。長年、愛されてきたヒット曲を中心に、出生地であるロシアの民謡や歌曲、若い頃を過ごしたパリの情景が浮かぶシャンソンの名曲、そして今残しておきたい「未来への詩」を熱唱する。新進気鋭のバラライカ奏者、北川翔もゲスト出演。チケット絶賛発売中!

◆6月16日(土)16時30分開演◆よこすか芸術劇場
 ◆全席指定5,500円◆☎046(823)9999 電話予約センター



©森 日出夫

小田原まち歩きツアーvol.46

申し込み方法
 TEL 0466(50)5088 FAX 0466(50)5077
 メール socos.yokohama@gmail.com

小田原を歩きながら城下町ならではの魅力再発見!

明治維新以降、益田鈍翁、野崎幻庵、松永耳庵という近代三茶人が現れ、茶室を設けたことで、小田原は「茶の湯総本山」と言われました。今月は、茶の湯文化をテーマにまち歩き。耳庵の松永記念館・老樗荘をはじめ、竹の小径、山下亀三郎邸跡などを巡り、ういろ別館「杏林亭」で飲茶懐石ランチ。清閑亭で呈茶も楽しめます。



松永記念館・老樗荘▶

日程 6月22日(金)10時 場所 箱根登山鉄道線「箱根板橋」駅改札口出たところ
 定員 25名(最少催行人員10名) 参加費 4,600円(昼食代、喫茶代、ガイド代込)
 ガイド NPO法人小田原まちづくり応援団
 ※前々日からキャンセル料全額発生しますのでご了承ください。

飲茶懐石ランチ▶



読売・日本テレビ文化センター
よみうりカルチャー横浜

2018年7月期(7~9月) ☎045(465)2010 <http://www.ync.ne.jp/>
受講者募集 横浜駅東口・横浜新都市ビル(そごう)9F



『シーガルシアター』

そごう横浜店、よみうりカルチャー共同企画

会場:新都市ホール(横浜駅東口、そごう9階) 全席自由 途中休憩あり
 受講料:会員 3,500円(よみカル、ミレニアム/クラブ・オンカード会員)、一般 4,000円

お電話で
 ご予約ください
 資料は無料で
 お送りします



仲代 達矢
 トークショーと
「天国と地獄」
 上映

6月28日(木)
 12時~16時

岸 恵子
 トークショーと
「おとうと」
 上映

8月2日(木)
 13時~16時



©Kuo Yamashita

よみカル 受講料 6月1日(金)~6月30日(土)まで
体験フェア 1,080円 (税込) 通常の半額程度の受講料で希望のレッスンを受けられます。
 体験フェア対象講座、日程などの詳細はお電話などでお問合せください。

純烈 JUNRETSU Summer Dinner Show in 横浜
 2018.8.5日
 人気上昇中の「純烈」が横浜ベイシェラトンに再登場!
 洗練されたフレンチコースとともに「純烈」の楽しいステージをお贈りいたします。

日時:8月5日(日) 受付16:30~ お食事17:00~ ショー18:30~
 会場:横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 大宴会場「日輪」5F
 料金:お一人様19,000円 ※全指定席 サービス料・税金込 ※特別フレンチコース、フリードリンク付き

※チケット発券手数料として1枚につき300円(税込)を別途頂戴いたします
 ※席は大テーブルでのご相席となります
 ※小学生以下のお子さまのご入場はご遠慮いただきます

ご予約 | 宴会予約直通 ☎045-411-1126 (受付時間:10:00~19:00)
 お問合せ | オンライン予約 <http://www.yokohamabay-sheraton.co.jp/event/junretsu2018.php>

横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ
 〒220-8501 横浜市西区北幸1-3-23 / TEL.045-411-1111